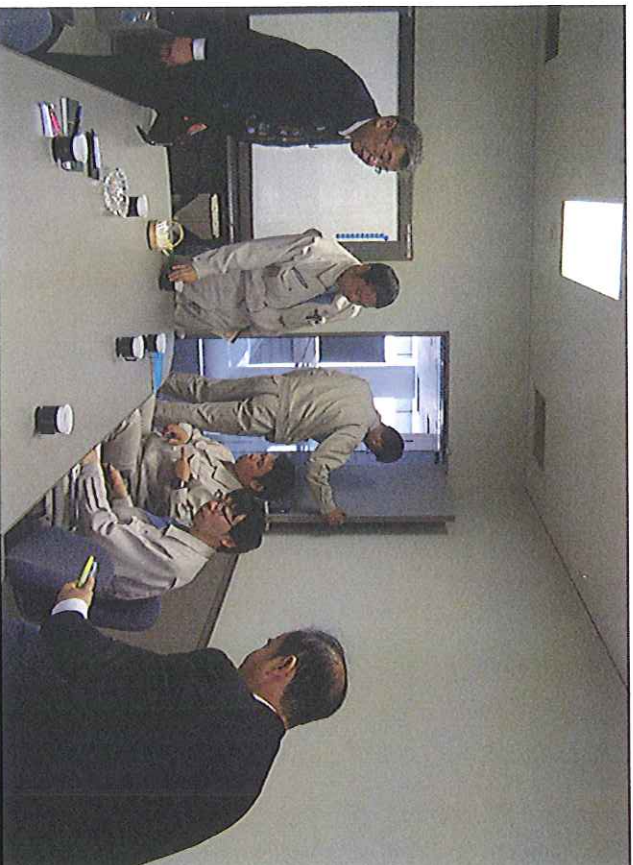


遠心載荷試験

第1回目試験 150mm国道対象
3・11の浦安市を想定した実験

2013/4月/15日撮影

(株) 茜谷



No. 1

実験開始前

ミーティング

緊張感が漂う。

日本大学工学部

仙頭先生指導

施設 五洋建設(株)

土木研究所

試験担当

ペリダテクサービス(株)



No. 2

実験棟に出発

仙頭先生と蕎谷社長。



No. 3

供試体の説明

実験班の苦勞が垣間

みれる。



No. 4

サンプル飯豊6号桂砂



No. 5

熱心にサンプルを触る
社長。ジオダグナルサンプ
ド
工法にかける思いが
伝わってくる。



No. 6

遠心載荷試験機
のサンプル側。

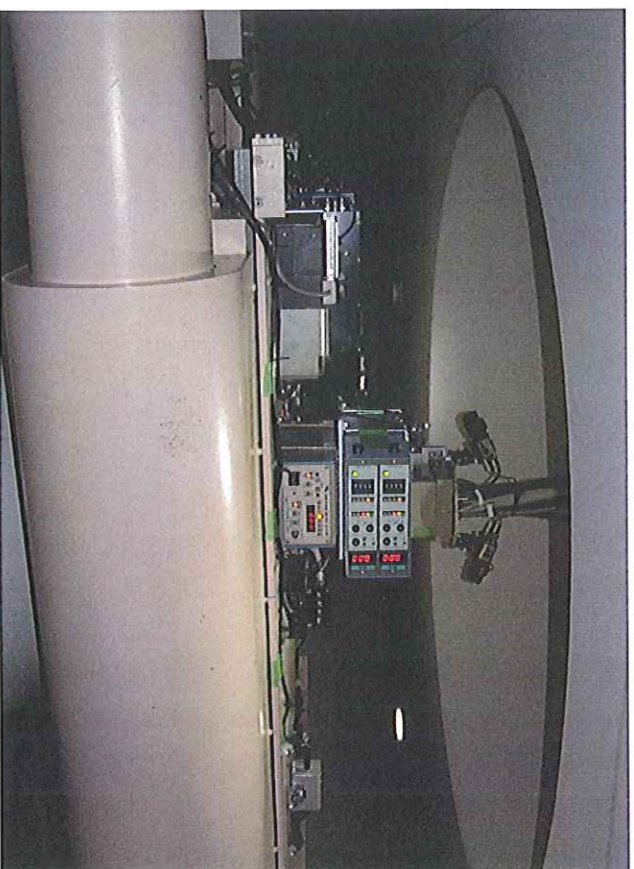


No. 7

センサー側

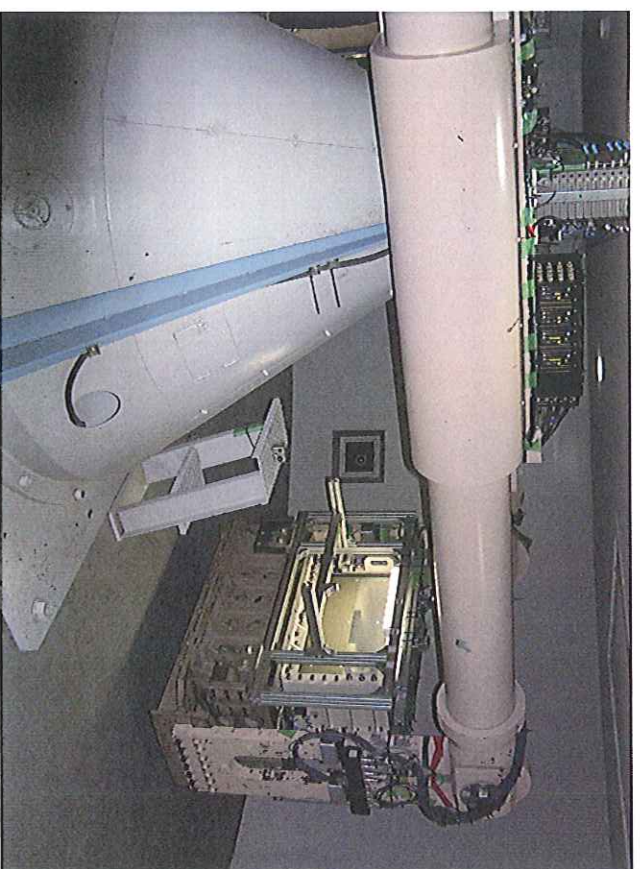
これを20Gの遠心をかけ回転させる。

これにより3・11の浦安市と同規模の想定となる。



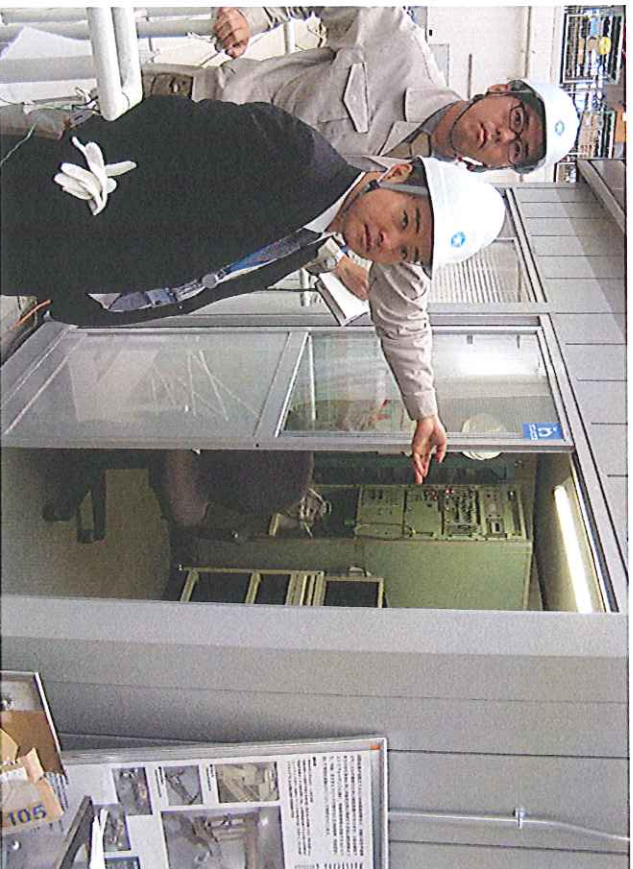
No. 8

装置のセンサー部分。



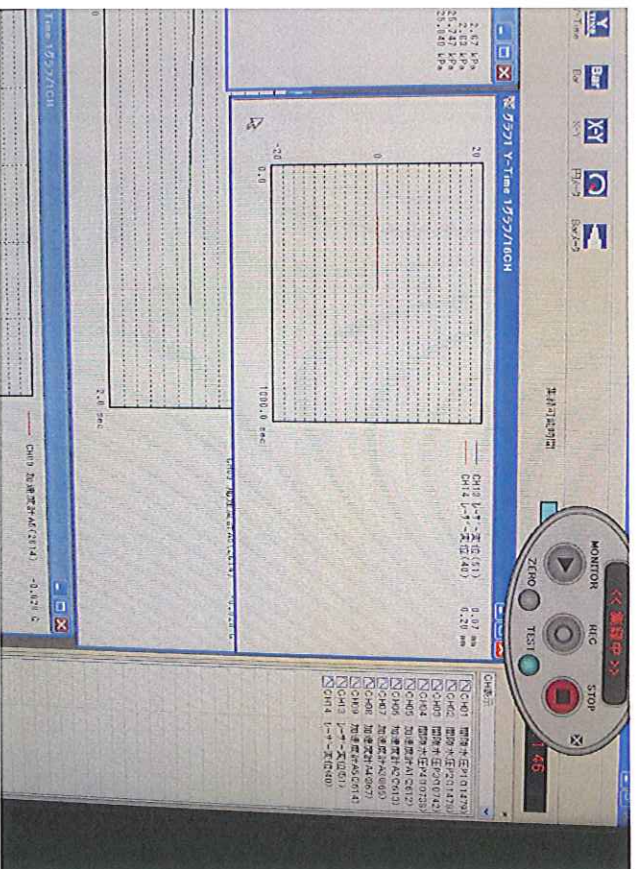
No. 9

回転前状況。



No. 10

仙頭先生と海野主任
どちらも工学博士で大学の先輩、後輩にあたる
師弟コンビでもある。



No. 11

入力完了。
データは完璧



No. 12

実験前の水槽。
日本を変える実験になる
予感を秘めている。



No. 13

実験の様子がモニター
に写し出される。



No. 14

実験終了後の確認作業。



No. 15

実験中。



No. 16

実験後。

砂(飯豊6号桂砂)の部分
を下の写真と見比べて
頂きたい。

路体の両端が沈下して
いるのがわかる。

このレーザーの変位を
20倍掛ける。

1.5mm下がれば3cm下が
ったことになる。



No. 17

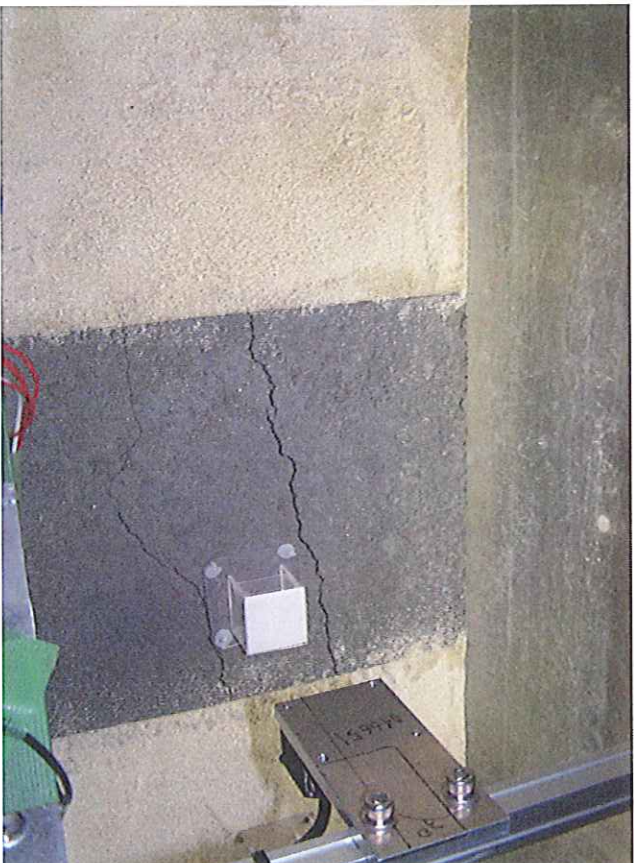
実験前。

変化無し。



No. 18

実験後の角度違いの
画像。



No. 16

実験後。

道路が完全に破断。

国道の厚さ150mmでこの
ような状況である。

県道、市道の50mm道路
ではこの数倍の被害が
想定されることがわかる。



No. 17

実験後

次回はジオダグナルサンド

工法を施工した模擬実験
を行う。

予定日

2013年4月23日。

余白